

2.6  $\forall \varepsilon > 0$  に対して、有理数の稠密性から

$\exists a \in \mathbb{Q}$  s.t.  $\sqrt{2} - \varepsilon < a < \sqrt{2}$ .

~~を証明する~~ とできることを用いる。

2.10 1-ヒント

3.5 1-ヒント

3.8 1-ヒント

4.5 1-ヒント

4.6 講義1-1 を説明できるようにする。

5.3 (2)  $\{S_n\}$  が有界となることを示す。

5.7 1-ヒント

5.9 1-ヒント

6.3 昨年の講義1-1 をみよ。

6.5 演習書 をみよ。

6.7 1-ヒント

7.4 7.3 を用いる.

7.6  $f(x) = g(x) + h(x)$  とおいて  $f$  とおくと  
 $f(-x) = g(-x) + h(-x)$   
 $= -g(x) + h(x)$

8.6 1-ε-δ

8.9  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} = \frac{b}{a}$  を示すときの  $\epsilon$ - $\delta$  を用いる.

$a \neq 0$  をどう使うか?

9.7 9.6 を用いる

9.8 有理数の稠密性 を用いる

9.9  $\forall x_0 \in (a, b)$  はどの  $\delta$  が  
かかればよいか?